

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学皮膚科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025 年 9 月

福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本 俊幸

■ 研究課題名

乳房外パジェット病の皮膚症状と臨床経過についての後ろ向き観察研究

■ 研究期間

2025 年 9 月 ～ 2027 年 3 月

■ 研究の目的・意義

乳房外パジェット病は外陰や肛門周囲、腋窩などアポクリン腺が豊富な皮膚に生じる皮膚癌です。乳房外パジェット病は非常に稀な皮膚癌であり、希少癌として取り扱われています。日本においてまとまった報告例は少なく、臨床情報や予後なども明らかにされていません。また、乳房外パジェット病の原発巣(はじめに発生した癌の病変)の皮疹は紅斑、脱色素斑、局面、結節、びらんや潰瘍など様々な性状を呈します。乳房外パジェット病患者の原発巣の皮疹の性状と病期や予後との関連を解明することで、より適切に治療や経過観察を行うことが可能になります。

■ 研究対象となる方

2006 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日に福島県立医科大学附属病院にて乳房外パジェット病と診断された患者さんが対象です。乳房パジェット病の患者さんや福島県立医科大学皮膚科受診時にすでに原発巣が切除されていた乳房外パジェット病の患者さんは対象になりません。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から以下の情報を収集し整理を行います。これらから乳房外パジェット病の原発巣の皮疹の種類と病期、手術後の無再発生存期間(乳房外パジェット病の再発や転移を生じるまでの期間)や全生存期間(生存期間)を検証します。

- ・ 研究対象者背景：性別、生年月日、年齢、既往歴
- ・ 原発巣：皮疹の種類(紅斑、脱色素斑、局面、結節、びらん・潰瘍の有無)、部位、大きさ、治療方法、病理組織学的評価
- ・ 転移病変：転移臓器、部位
- ・ 治療効果：奏効率、無局所進行期間

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025 年 10 月 1 日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学皮膚科学講座であり、研究責任者は皮膚科学講座山本俊幸です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学皮膚科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1 番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 担当：森 龍彦

電話：024-547-1309 FAX：024-547-1309

e-mail：dermatol@fmu.ac.jp